

栽培のしおり

やさい編

種類	時期									品種	播種量 3.3㎡ 当り	植えつけ間隔			施肥量(成分) g/3.3㎡			注意事項
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	畦幅			株間 (cm)	3.3㎡当り 植付(株本)	チッソ (N)	リン酸 (P)	カリ (K)		
アスパラガス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ウエルカム	0.3㎡	150	30	7	70	37	53	有機物を十分入れる。ペッパーポット育苗。茎枯病に注意する。
いちご		●	●	●	●	●	●	●	●	おとめ心	—	180 (2条)	20	18	30	30	30	うねは、高うねとする。春先にマルチか敷わらを行う。ウイルスフリー苗を使用する。
えだまめ		●	●	●	●	●	●	●	●	東北早生みどり 湯あがり娘 秘伝	20㎡	75	25~30	35	15	23	15	熟期の異なる品種を組み合わせる。肥沃な所では無肥料とする。開花から幼果期までは土壌乾燥に注意する。
おかひじき	●	●	●	●	●	●	●	●	●		130㎡	120cm (散播)	—	—	70	70	70	発芽をよくするため種子浸漬(1日位)する。まきうねに、十分かん水してから播種する。本葉がでるまで、かん水は極力ひかえる。
キャベツ				●	●	●	●	●	●	春ひかり7号 金系201号	0.2㎡	75	40	11	85	95	70	植え穴には十分かん水し、根鉢を崩さないよう定植する。
くきたち類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ちりめん五月菜 紅葉苔	2.0㎡	150 (2条)	20	22	65	65	65	越冬させるので春先の排水対策を十分に行う。
たまねぎ			●	●	●	●	●	●	●	ラッキー	1.8㎡	120 (4条)	12	90	90	140	90	茎の径が6~8mmのものを定植する。春先の乾燥に注意する。
チンゲンサイ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	早生種 中生種 晩生種	2.0㎡	75 (3条)	12	120	65	40	50	季節により早生種、中生種、晩生種を組み合わせる。春まきでは桜の開花した頃が適期。
つるむらさき	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ツルムラサキ	0.9㎡	150 (2条)	30	15	93	93	83	種子は一昼夜水に浸し、十分吸水させてから播種する。摘みながら収穫し追肥する。
にら	●	●	●	●	●	●	●	●	●	たいりょう パワフル グリーンベルト	3.0㎡	120 (2条)	20	90	56	57	44	1株3~4本植え、春にらと夏にらに分けて収穫。同一株での収穫は年3回とし、3年収穫したら株を更新する。
にんじん(短根)				●	●	●	●	●	●	向陽2号 ベーターリッチ	4.0㎡	80 (2条)	10	83	65	50	65	降雨後の適湿時に播種する。間引きした後土寄せし、青首を防ぐ。
にんにく		●	●	●	●	●	●	●	●	ホワイト六片種	70球	130 (4条)	15	70	70	100	65	植付けの深さは3~5cmとする。5~6月に適宜かん水する。
ねぎ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	元蔵、長悦	5.0㎡	70	3	157	67	50	50	排水対策を実施する。最終土寄せは葉の分岐部まで。
ブロッコリー			●	●	●	●	●	●	●	緑嶺、ハイツSP	0.2㎡	75	40	11	80	45	60	アブラナ科作物と連作しない。排水が良く肥沃なほ場を選定する。
ミニトマト		●	●	●	●	●	●	●	●	千果	—	180 (2条)	45	8	75	70	70	十分着色したのから収穫する。深耕と排水対策を実施する。

お花編

種類	時期												品種	草丈(cm)	科名	注意事項
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月					
カンパニュラ						●	●	●	●	●	●	●	メデウム系 パーシシフォリア	100	キキョウ科	ある程度大きくなった苗が低温にあい翌春開花する。高温多湿を嫌うので夏場は半日陰がよい。春早く摘心し株当り4~5本に整理する。
パンジー (三色すみれ)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	デルタ、イオナ、ナチュラル、 アリアルシリーズ、 ピオラシリーズなど	20	スミレ科	育苗は涼しい場所で行う。花だんやプランターでは秋に植え付けた方がみごたえのある草姿になる。
ペチュニア			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	バカラシリーズ ロンド系 タイタンシリーズなど	30	ナス科	軟弱徒長苗とならないように十分に光線を当てて育苗する。水持ちや肥持ちの良い、土づくりを行う。日当たりと排水の良い場所を選び20~25cm株間に定植。
マツバギク				●	●	●	●	●	●	●	●	●	濃桃色 白色系など	20	ツルナ科	日当たりの良い場所を選ぶ。乾燥には強いが湿りけを嫌う。
ユリ										●	●	●	各種	50~100	ユリ科	排水のよいところに10~15cmの深さに植付ける。球根の肥大をよくするため、開花が終わったら花を摘みとる。バヤスの発生に注意する。
アスター			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	松本系 くれない系 小輪系各種(マイクロアスター)	70~90	キク科	お盆に咲かせるには、4月上旬にハウスあるいはトンネル内にまく(平坦地)。水はけのよいところで連作は避ける。
グラジオラス				●	●	●	●	●	●	●	●	●	ファイアブランド(赤) トパーズ(黄) トラペラ(桃)など	90~110	アヤメ科	春植え球根の代表的なもので、丈夫で作りやすい。植付け後100日後で開花する。
コスモス											●	●	センセーション ベルサイユなど	100~150	キク科	土壌などは選ばず、栽培は容易で、7月直まきも可能。花壇では30~50cmの株間で定植。
サルビア		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ホットジャズなど	20~50	シソ科	刈り込みは、7月で開花の終わったものを花穂ごと切取ると側枝が伸び出し9月より再び開花してくる。乾燥を嫌う。
宿根アスター (シロクジャク)					●	●	●	●	●	●	●	●	ホワイトアスター ピンクスター1号など	100~	キク科	株分け(4/中)またはさし木(5/中)で増やす。6/中~下旬に(開花予定85~90日前)台刈りし株当り5~6本に整理する。ほぼ3年ごとに株分けする。
ニチニチソウ					●	●	●	●	●	●	●	●	わい性種	30	キョウチクトウ科	直根性であるので、移植する場合は小さいうちに行う。夏の高温と乾燥に強い。
べにばな			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	もがみべにばな とげなしべにばな	80~90	キク科	乾燥で発芽率が低下する。低温に対し強い、おそまきでは炭そ病が発生、移植を嫌うので直まき、30cm角に間引く。
マリゴールド (フレンチ) (アフリカン)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	わい性各種	30~60	キク科	早い時期での開花にはフレンチ種を用い、8月以降の開花には、アフリカンを用いる。株間は30~40cmとし定植する。
コリウス		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハイウェイシリーズ ウィザードシリーズ	20~50	シソ科	好光性種子なので覆土はしない。治めておきたい高さまで伸ばしたら芯を止める。

●.....種まき ●.....定植(苗・株分け・球根の植付け) ■.....移植(床や鉢に行く) 作業期間 ●.....鉢上げ 収穫・開花期間